

## 消費生活ワンポイントアドバイス! Vol.5

### 「水まわりの修理・工事トラブル 悪質業者に注意！」

#### <相談事例>トイレが詰まった!

ネット検索して業者に電話依頼をしたら、見積書もなく口頭説明だけで便器の取り換えまで必要だと言われ、25万円の請求を受けた。

#### <アドバイス>

- ・複数社から見積もりを取り、サービス内容や料金をよく検討しましょう。
- ・納得できない料金やサービス内容を提示された場合は、きっぱりと契約を断りましょう。
- ・いざという時にあわてないように、あらかじめ止水栓の場所や止水方法を確認したり、信頼のおける事業者を探しておきましょう。(集合住宅にお住まいの方は管理組合の窓口を確認しておきましょう)
- ・困った時は水道修繕受付センター【神戸市開設】に電話相談しましょう。

水道修繕受付センター【神戸市開設】  
(24時間365日対応)

きゅうなるうすいはいいくよ

0120-976-194

#### 契約書の内容をよく確認し、納得した上で契約することが大切です。

※契約書にサインをする前に、以下の内容を必ず確認しましょう。

- ・事業者の名称・住所・電話番号・代表者名が記載されているか。
- ・工事の内容・支払い総額に間違いはないか。
- ・口頭での説明や約束事が契約書に記載されているか。

※修繕の作業中は契約通りに作業が進められているか、作業終了後は契約通りに作業が完了しているか確認しましょう。



万が一くん、考助

悪質商法や契約トラブルなど消費生活に関する相談は神戸市消費生活センターへ

消費者ホットライン  
いやや  
188

平日: 9:00~17:00 (078-371-1221でもつながります)

土日祝: 10:00~16:00 (12/29~1/3除く)

消費生活に関する最新情報を配信中!



神戸市消費生活センター

検索

## 健康通信 Vol.294

### かかりつけ薬剤師・薬局を持ちましょう!!

皆さんは普段から気軽に相談できる「かかりつけの薬剤師・薬局」をお持ちですか? 薬剤師は、医師が処方した薬を確認し、患者さんが服薬している別の病院の薬や市販薬などの情報を把握して、場合によってはお薬を減らす、変えてもらうなど医師に提案ができる薬の専門家です。医療機関ごとに近くの薬局で薬の調剤をしてもらうのではなく、1つの薬局で複数の医療機関の処方箋を引き受け、調剤をもらう「かかりつけ薬局」を持ち、顔なじみの「かかりつけ薬剤師」に薬の管理を任せることで、次のようなメリットがあります。

- 1 薬を管理してもらうことで、成分の重複や飲み合わせ(複数の薬を飲むことで、効き目が悪くなったり、副作用が強くなったりする)の悪影響を防ぐことができます
- 2 服薬状況、副作用等の状態を把握してもらい、地域の医療機関と連携した服薬指導を受けることができます
- 3 薬歴、アレルギー、体質などを把握し、適切な情報提供が受けられます
- 4 介護の不安や心配ごと、薬と健康に関する幅広い知識をもとに、解決策の提案や在宅ケアのサポートを受けることができます
- 5 休日・夜間でも相談することができます

この機会に、薬だけでなく健康や介護のことなどをお気軽に相談できる「かかりつけ薬剤師」、「かかりつけ薬局」を持ちましょう。

#### Q. いつも飲んでる薬が家で余っている。どうしたら良い?

飲み忘れ、飲み残しで家庭に余っている薬のことを「残薬」といい、国内全体では数百億円から数千億円分の残薬があると言われています。「かかりつけ薬局」、「かかりつけ薬剤師」に相談して、残薬を差し引いて処方してもらうように相談しましょう。薬局では、医療機関の医師と連携して、残薬を解消するなど、薬の無駄をなくすよう取り組んでいます。また、残薬を活用することで、薬代の削減にもつながります。ぜひ、ご利用の薬局、薬剤師に相談してください。

神戸市保健所医務薬務課 TEL: 078-322-6796

ぜんぶく

## 全福だより VOL.57

### ~「全福ネット防災シリーズ」のご案内~

全福センターでは会員の皆様方の災害時の備えとして、防災商品を会員特別価格にてご案内しております。1セットから個別配達、送料無料でご利用いただけます。(別途要手数料)

非常食や防災備蓄食、災害用トイレなど沢山の種類がありますので、職場やご家庭の備えとして是非ご利用ください。

詳しくは全福センターホームページ→防災シリーズのコーナーをご覧ください。

